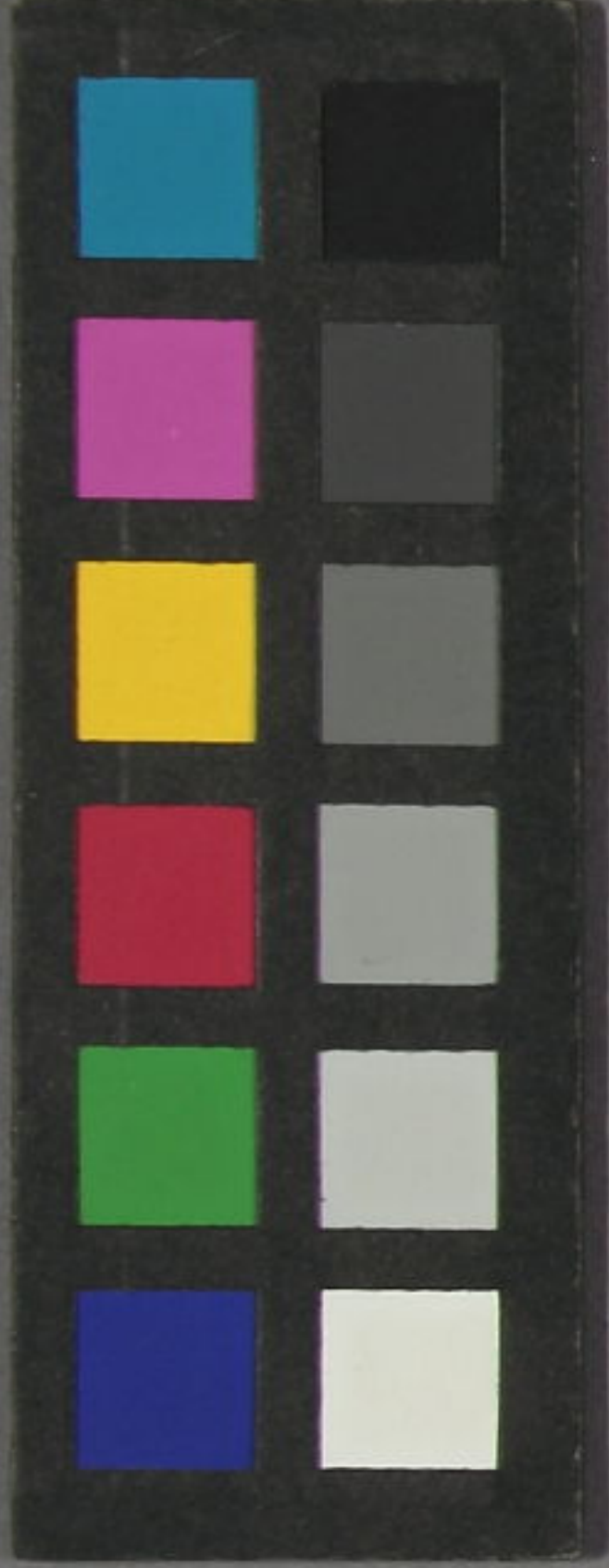




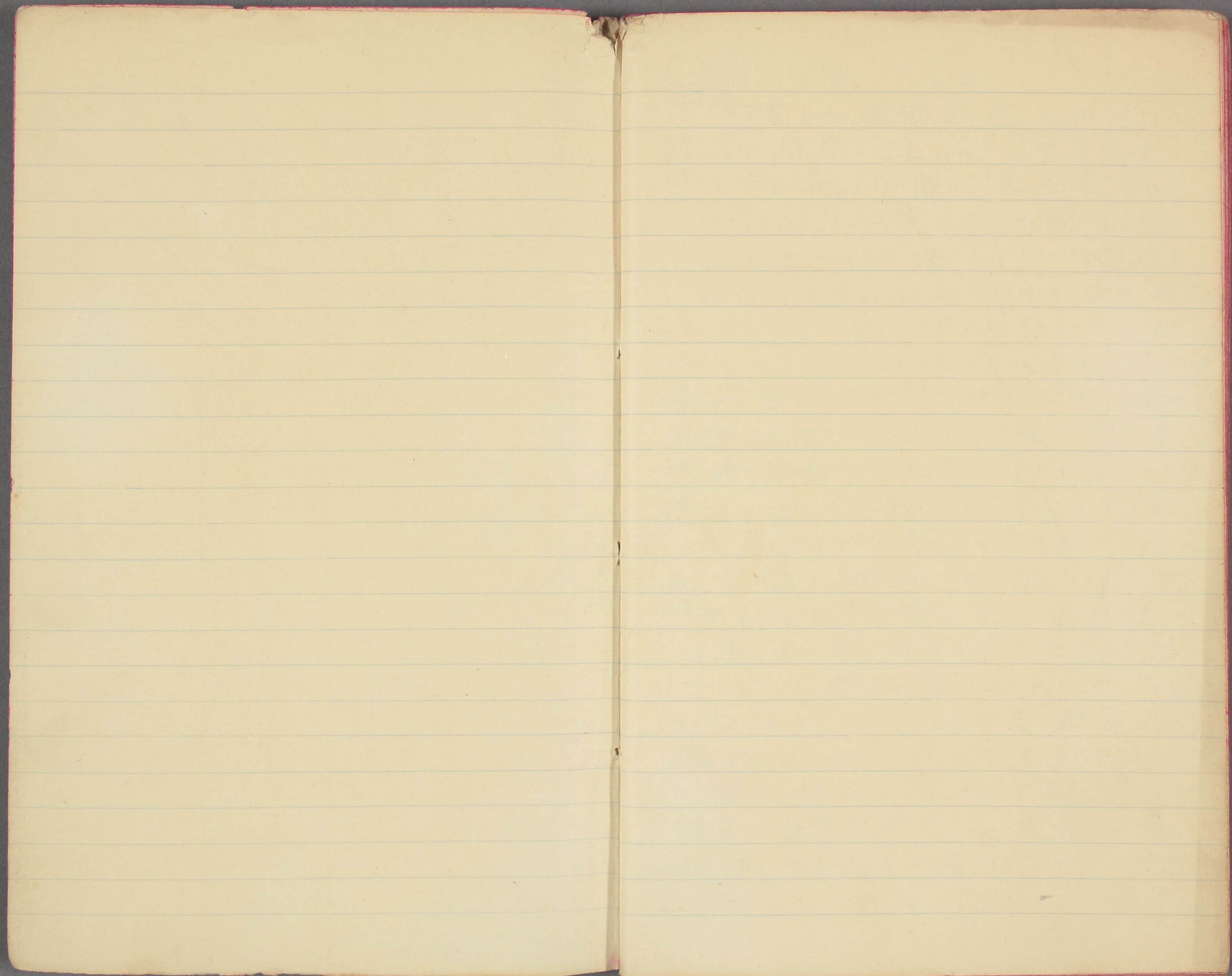
特別
14
2236
24



特14

2236

24





緒論

第一 哲学史の研究

哲学 / 科学トミナハ主トシテ
 其ノ根柢ノ実験以上ニ超スルニ
 アリ 最後ノ一案ニ於テ前定
 ノ~~立ツルニ~~要スルニアリ 科学上
 ノ知識ハ実験的知識ナリ 故ニ
 直ニ実験ニ徴シテ其ノ真否ヲ判ズルヲ
 得ルモ 哲学的知識ハ実験以上ノ
~~案解本解ト~~行カセモ~~ニ~~得ズルヲ
~~以テ~~ニ超スルガ故ニ他日若シ
 天地ノ本質天地ノ極致トイフモノニ到
 達シテ之ヲ実験スルノ極アラバ知ラ
 る~~ズ~~ 且シマデハ 苟クモ実験上ノ科学
 的知識ト謂フルニ限り 全ク相
 相補セシ迄モ其ニ至リテ真理若シ
 一真理ノ成リテ存在セザルベカラ
 ズ 然レバ 科学ニ於テハ今日真ト
 セラシメテモ明白ニ對シノ實
 験理出ヅルニ及ビテハ其ノ成リ
 ニ至リテ 哲学ハ尤モ其ノ末ニ通ジテ
 難多ノ~~難多~~思想系 共存シテ
 一相補ヒ相研キテ最後ノ真理セ
 ト~~迄~~カ~~ミ~~ザルベカラズ 要スルニ 哲学史

二見ハルハ其ハ月ヲ等活ナ
一夫其面生命ノ中ニ協同進歩
ツハ易後ノ真理ニ向ヒ發展ニ
行一大~~思想~~ 指サリトイフベシ
随ツテ哲学ニ関係スル知識ヲ
得ニトスルハ必ズ之ヲ直ニ去
リ継続ニ願ハルヲ得サレ~~ル~~
所以也 哲学史中ノ其ハハ~~過去~~
ニシテ漢ハ過去ニアラサレ也

カニ支那哲学ノ發達ノ時代

支那ノ哲学ハ其大部倫理學ニシ
テ~~其~~ 數ハル其始メヲ見ハキモイ
ルハ周ノ~~中葉~~ 以後即所謂
諸子時代ナリ其以前ニ於テハ唯
哲學トイフモノナシ唯斷片~~的~~ナル
哲學思想ノ書見易ノ一部ニ見ル
ハノニ、サレバ~~其~~ 支那~~其~~ 支那~~其~~ 支那
ノ一二期ハ周ノ哲學トシ其發
達~~ハ~~ 然テ一言~~斷片~~ 其以前ノ
斷片~~的~~ 諸子思想~~ハ~~ 諸子~~ハ~~
以テ一期ノ本流ナル周ノ~~中葉~~ 以後

後ニアリテハ漢ノ文學史ニ云フニ
如リ道儒ノ二流ヲ中心トシ刑名
ノ實際~~的~~ 政治~~的~~ 思想~~ハ~~ 一~~派~~
思想~~ハ~~ 加ヘ全支那ノ思想界ハ三
流~~ニ~~ 分レ~~テ~~ 以テ~~ハ~~ 下ニ源~~ハ~~ 其~~ハ~~ 蓋
シテ~~ハ~~ 其~~ハ~~ 哲學史中~~ハ~~ 實~~ハ~~ 絶~~ハ~~
其~~ハ~~ 時代也~~ハ~~ 故ニ又之ヲ獨~~ハ~~
成~~ハ~~ 期トモ稱ス一次ニテ二期ハ
秦漢~~ノ~~ 儒~~ハ~~ 佛~~ハ~~ 傳播
期~~ハ~~ 道儒佛混合期ナリ~~ハ~~ 期
ニ~~ハ~~ 其~~ハ~~ 種々ノ意味アリ秦漢ノ
如ハ後ノ秦火~~ハ~~ 其~~ハ~~ 典籍~~ハ~~ 焚~~ハ~~
後トテ一方ニハ盛ニ古書ヲ搜索シ
テ之ヲ訓詁シ註釈スルニ~~ハ~~ 勤~~ハ~~
スル~~ハ~~ 學者多カシキ~~ハ~~ 或ハ~~ハ~~ 以テ
訓詁期ト化シテ~~ハ~~ 宋迄ノ~~ハ~~
目トナシ~~ハ~~ 其~~ハ~~ 是~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~
上~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~
其~~ハ~~ 佛~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~
其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~
其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~ 其~~ハ~~

元1+2 唯理論的 Ethical 宗教的
的 Religious 方面 = 隱匿的 (隱匿的)
哲學的研究 = 隱匿的 (隱匿的)
(三) 宗教, 時代, 思想, 全觀之統一
= 注意之キハ、時代、人々、思想
カ、一上二一、非常の有力な大
權威アリテ彼等ハ等ニシテ權威ノ下ニ
敬服シ、全ク以テ屈從シ恩賜ニ
行カザルヲシ、觀アリテ以テ
權威ヲ得テ彼等ハ天上ノ神ニ
不遜セシメリ又神ハ上帝トシテ
大言談ニ皇天眷命、奄有四海ト化
唯時(2) 亮(2) 天功ト化 又
(每典ニ)

西伯戡黎(紂)王曰:嗚呼!我生不有命在天,祖伊又曰:
嗚呼!乃罔多。帝在上,乃能責命于天。天以...

惟天監下民、其(後)厥義、降^年有永^用
有不^承、非天久民、民中絶トイフガ如ク

備現の立場(善要標準字)の二

墮于馬口、惟德節天、血遠弗届。
滿招損、謙受益、時乃天道。帝
初于歷山、往于田、日歸恤于
旻天、于父母。~~其~~負罪引慝、~~祗~~
載見暫慙、嗟々育慙、暫亦允
若、至誠感神、知茲有苗。ト其尼
當格于上帝、イハ神人ノ陰候ハ未
タナリ且同語ヲ反覆セルニ因キス、

(七)以上、如ク人天ノ陰候ハ終ト
全ク説明セラレズ、只誠ノ一字ヲ以
テ人カリ天ニ通ズルノ道トナシタルヲ復
ルニ今假リニ以テ至誠トイハル
語ヲ取りテ人間道德ノ根本ト
セカ誠トハ借直ニト意、如何セル
義ナルカカ一直接トイフ義ヲ含ム即チ
意識ノ統一ニシテサナニ其利刃ハ
之ヲ意識ヲ許サズ確信ノ境ニ入リ
イフ即意識ノ態度状態ヲイフ也
カニ件ノ意識ノ内容ニ善ナルヲ
陰ス即普通誠トイフハ善ニ統一ナル
意識ノ状態ヲイフ單ニ統一ナル意識
ハ此ニ於テアリ得ベク盜賊ガ其業
ニ於テ成印セント欲シテ神ニ祈ルヲ

コトイフ如キ即チ之ナリ世俗動モ
スレバ之ヲモ一人ト稱シテ誠ト同ジ
元トシ以テ純リ神モニ通ズトセリ
義トイフ中ハ誠トイフ中ハ此ガ少
シク意識ナル内容ヲ欲求セルカ如シ
即チ形式ノ統一トイフナリ其内
~~善~~善ガ善ナルヲイフニ似テ若シ笑ズ
トセバ善要ノ學ニ通ズル只ノ信トイフ
義トイフ之ヲ學ナル倫理ノ標準トハ
見トベキニ倫理ノ標準トハ善要ヲカフ
ノ目安ナル也)其ハ誠トハ善ニ一
ナルナル善トスベシサテハ世中善ニ
テノ誠ハ果シテ倫理ノ標準ナルノ
價值ナルカ一人トイフ形式ハ我人ヲ我
ガ支配シテハ此ナリトシバ可ナル好或
ハ隨意ニ之ヲ得ベシトスルモ其内容
ノ善ナルトイフ形當分ガ已ニ倫理上
ノ或前定ノ意味ナルモノニシテ他ニ更ニ
高キ標準ヲ要シ善ナル一人トイフハ同ジ
最高ノ標準ナルヲ得ザルヲ云フ又善ナル
一人ト要ナル一人トイフコトヲ判斷スベキ
カトイフ問題起ニシバリ~~善~~善ニ於テ
カ吾人ハ此誠トイフ字ノ内容ヲ更ニ外ニ

一惟危、通心惟從文、惟精惟

(十) 假リニ中ト一 一見変ヲ当代ニ折ルガサ
凡一ノ偏理思変ト~~ニ~~見ル井ハ、一面
当时、常識ニ及見ルニ、宋陶漢ノ
九徳ノ如キ或万其^ノ弊^ヲ中
ト一ト吊已甚ト云々在端ト云々^ノ浦和

(土)ト筮ノ思モ古クヨリアリテ大禹漢ニ
電筮協紀、ト不^レ啓吉トイヘリ蓋シト
筮1具元盛ナリハ周初以後ニシテ
周易トイフモノスラカニ残シルナリ周易ノ
事ニ就テハ後漢ニ言フベシ周以來ノ
ト筮ノ如何ナルモナリシカ所連山既
然1洛陽ノ用ヒラシシカ或ハ墨ニ電ヲ
燒キ筮ヲ引キテ之ヲ占ヒシカ知ルニ由
ナキモ忽ニ周占易トイフモノガ如何ナ
ル程カニ於テ又ズ一真迷信ノ元
素ヲ含ミ居ルヲ即チカノ科學界
ニ於テハ馳スルモノナリト云フベシ

二廿七五善要者也、一曰標準我ニハ
 三ガ世ニアリテハ其意亦荒々スル
 ニムヲ得ガモリ就中支那ノ如ク最
 高標準ハ天ノ靈降ニシテ觀念メテ
 之ニ非之ヲ宗奉スルニ信仰スルニ至ラズ
 唯漢文下列ニテ信仰様スル思慕ニ付
 ハ格ヒ之ガ啓示ヲト望ミ如キモノニ求メ
 レトスルニ至ル、凡ソ得ガルモノ、
 固ヨリ至高ニ是ガ世也、存在
 (主)亦鬼神トイフ思慕モ然レドモ見
 ル大抵漢ニ鬼神其故ト化異典ニ
 歸曼于群神トナル其鬼神ハ前人
 ノ鮮祖ニコレハ丘陵墳行古昔聖賢
 等ノ靈ノ如キモノナリトイハレ得る一種
 ノ凡神歟の立場ニ下リテ山川
 諸神靈ヲ現ゴトモ見、又人
 ノ靈魂トイフ如キモノ死後
 尚子孫トシテ信ズル傾向モアル也
 天地山川ヲ崇リ祖先ヲ祭ル總一面
 ニシテ、政教ヲ意味スル共ニ根柢
 又之也(如キ思想)存スルヲ見
 (二)而シテ此ノ鬼神トイフ祖群神
 (三)トイフモノト天トノ關係ニ於テハ何

カルマデニシテ去リ本文ニハ渾リ之
 が天地~~中~~人~~間~~ニ~~陰~~陽~~の~~あり~~を~~示~~す~~
~~保~~保ヲ復~~タ~~リト是~~ニ~~ル~~ル~~節モ十ヶレバ
 衆人ニ未~~ダ~~之~~ヲ~~レ~~テ~~直ニ~~中~~ノ字
 宙~~制~~制~~隣~~隣ト見~~ル~~~~に~~ズ~~ク~~行~~ト~~ハ天
 地~~ノ~~間ニ~~陰~~陽~~の~~施行セ~~ル~~モ~~ト~~ノ臺
 ナ~~リ~~トイ~~ハ~~バ或~~ハ~~漫~~然~~天地ハ~~ハ~~五
 元素~~ヨリ~~成~~ル~~ト觀~~じ~~~~た~~ル~~に~~モ
 十~~ハ~~カモ知~~ル~~~~に~~ズ~~カ~~サレ~~ド~~決~~シ~~テ後~~世~~ノ如
 ク~~ハ~~五行~~ガ~~陰陽ニ基~~ヅ~~イ~~テ~~ス~~ル~~テ
 天地~~ノ~~形~~ヲ~~ナ~~ス~~トイ~~フ~~如~~キ~~思~~ふ~~當
 時ニ存~~セ~~リト見~~ル~~~~に~~ズ~~カ~~ズ~~ニ~~後~~世~~ノ
 學者~~ガ~~盛~~ニ~~ニ~~テ~~用~~フ~~ル~~ニ~~五行~~ノ~~月~~ノ~~
 支~~那~~指~~婚~~婚~~ト~~見~~ル~~ニ~~見~~エ~~ル~~ヲ~~注~~
 意~~シ~~過~~ケ~~ズ~~ニ~~次ニ
 (三) 五事トハ貌~~ハ~~榮~~ニ~~シ~~テ~~榮~~ヲ~~作~~シ~~
 言~~ハ~~征~~ニ~~シ~~テ~~義~~ヲ~~作~~シ~~復~~ハ~~曰~~ニ~~
 シ~~テ~~指~~ヲ~~作~~シ~~膝~~ハ~~股~~ニ~~シ~~テ~~謀~~ヲ~~作~~シ~~
 シ思~~ハ~~慮~~ニ~~シ~~テ~~聖~~ヲ~~作~~ス~~ト~~イ~~フニ
 過~~ギ~~ズ~~ニ~~然~~レ~~モ~~ト~~事~~成~~
 保~~理~~ノ~~綱~~目~~ト~~モ見~~ル~~~~に~~ズ~~カ~~ズ~~ニ~~又~~君~~
 臣~~ニ~~榮~~歟~~ノ~~子~~仲~~ニ~~交~~フル~~語~~ニ~~南~~尚~~
 書~~ノ~~前~~ノ~~人~~ノ~~語~~、~~惟~~忠~~、惟~~孝~~ト~~イ~~フ~~に~~

孔子以後重要ノ語トナレ

忠孝ノ二字、始メテ疾苦セズシテ淫奢ニ
過ハズ

(14) 廿二篇ニハ天_ノ道ヲ可成有_ル形ニセ
トスル_ル人ハ自_ラノ傾向ハ~~何~~オハツ
ウニ種_ノ方面ニ向カシテ發展セルニ依_リテ
一ハ迷信_ノ方面ヨリテ天道ヲ卜筮ニ見
~~又天書地書ニ見ル~~ハ~~愚~~惑_ヲ盛トナシ
ナリ一ハ天道ヲ人_ノ道ニ近ツテ_中凡_ノ衆
ノ長_ヲ王_ト指セセシメ_ルガド王ガ唯一
ノ天ノ代表者~~トナリ~~寧_ニ天ト同_シ解_スルカ

(中) 如リ説カトスニ至~~ル~~シ~~テ~~九疇
 中答疑ハ即~~チ~~ト~~キ~~ニ~~テ~~連信の
 方面ヲ示~~ス~~ニ~~テ~~擇建立ト~~キ~~人
 乃策ト~~キ~~ (中略) 汝則有大疑、謀及
 乃心、謀及卿士、謀及庶人、謀
 及ト~~キ~~、汝則從、耆從、童從、卿
 士從、庶民從、是之謂大同ト~~キ~~、
 即~~チ~~ト~~キ~~ニ信賴スル心、蓋明
 確ト~~キ~~見~~ル~~、~~其~~ニ~~テ~~

~~(五) 尚之博知孔達信昭方圓之鬼神~~

(7) 爲ニト事ナリ(建倫的方面、~~益業~~
善ク言ハバ宗義人方面益業展セ
ル、徴人金藤^りニ疎王病^ル中

(三) 如上、思想中ニ一持子上掲の如く重大意義を含むト其ニ其教義が如何に眼前ニ敵ヲ控エ~~て~~^テ顯正ト其に對スル破邪ノ方面ニカゝリ居タルハ注意せねばならざる所ハ然レドモ此ニ對シテ孔子ト云フは孔子ニ外ナク孔子ト云フは孔子以後一人ト云フ迄アリ也茲ニテハ寧ろ孔子本身が見えぬ以前ノ傳説思想等孔子ノ源トナル~~もの~~當時ノ社会風土ヲ審みしに於て是レは其ニ即チ孔子ニ對シテ孔子ヲ見ぬ時代孔子ノ~~思想~~^{思想}は~~生じ~~^{生じた}當時ノ社会ヲ是レニテ孔教時代ニテ~~終つた~~^{終つた}事ヲ~~示す~~

思想界に情知哲子ノ建議トシテ種々
 方面ニ進充展シテ己ニ仁義トシテ
 後世ニ出テ居リシヲ老子ニシテ峯ニ
 シテ又其仁義道徳ノ後ガ朽腐ニ世
 ニ是レカリシカモ峯ニシテ孔子ハ只之
 由ヨリ所謂集大成セム外ナシ孔子
 ニ至ルニ孔子ノ思想ハ社会ニ蔓
 びアリシヲ是レ見スベシ (和月士十元)
 其レハ孔子ハ当时社会ノ思想ノ正極ノ
 代表ニシテ老子ハ其反動好思 (終) 者
 ノ代表ト見ルニ可也

~~他~~老子「学総」は「元種」の「道」の「其」を「量」を
 排非の「二」に「因」に「本」を「思」ふ「ハ」自「ウ」印「を」思「ふ」ト
 此「道」に「ハ」故「ニ」老「子」が「ハ」早「ク」印「を」叫「来」
 し「ル」人「ト」し「ト」二「ハ」う「エ」又「ハ」老「子」が「因」に「出」テ「ハ」行「ク」
 所「ヲ」知「ウ」サ「ル」ハ「印」を「ニ」行「ケル」ト「リ」ト「云」フ「如」キ「道」
 云「フ」レ「ト」其「信」に「ハ」難「シ」唯「老」子「が」所「以」南
 人「ト」ハ「自」ウ「道」に「思」ふ「ト」ハ ~~又~~「地」に「立」
 つ「ベ」キ Possibility「ヲ」有「セリ」(殊「ニ」ト「ハ」)
 ハ「或」ハ「云」ヒ「得」ベ「ク」又「或」ハ「老」子「ノ」学「ハ」
 董「帝」に「出」テ「リ」ト「ハ」サ「レ」モ「是」亦「信」ニ「ベ」キ
 根「拠」ト「シ」董「帝」ハ「歷」史「最」武「ヲ」用「フ」ル「ニ」
 長「ゼ」シ「人」に「シ」テ「ハ」兵「家」ノ「祖」ト「ハ」ナ「リ」得「ベ」

~~其の其他種久傳奇的、7人故之
後世之主行附唐之其説ヲ神・セト
セル。非ハ古人之老子の思想ノ
系脈ヲ穿子ハ（若クハ）只南人
一國ニ方苗族ノ思想ガ北人ト著シキ
強首ヲ辨ニセバ所限案ノ計ナシ
ナリ。~~

天1432要根本に南~~々々~~方苗族の他
 何ヲ有ント其之恩恵が周^{乃至以上}に
~~思ふに及ばざらんして~~七事ツバカズ
 哲子に宛係るに七事ツバカズ

(四) 老子 ~~天地~~ 宇宙觀即形而上
 學 (Metaphysics) ~~如何如何~~ ⁽¹⁾ ~~如何如何~~ ⁽²⁾ ~~如何如何~~ ⁽³⁾
 老子 $\alpha \beta - = \gamma$

道の道軌常道、名可名軌常道
トハ二常トイハル 永遠者ニハ不変也
由即時ト至トニ叫テ変セザル 真~~理~~トイフ
我~~ハ~~ニ道トイハル也 (即普遍の價值)
名トスベキものトハ 吾人が言フ迄ニ叫テ
おツテ得ベキ即知力ニ叫テ得ル之得ベキ
道 常ニハ知ナリ ~~道トイハル者ハ天地~~
~~ト人倫トニ其~~ 即普遍の價值ヲ存スル~~真~~
~~理~~ 元ハ知力ノ外ニ叫トイフ~~ハ~~ 端

倫理

老子が道に道化をトハル中ニハ
のト形而下のト、両面ヲ含メ得し、
此處要ニ前提ニ次ニ (即チ)

無為天地之始、有為萬物之母
ト化直ニ宇宙論ノ本題ニ入リ、
智以上ニアルが故ニ天地ノ始ト云
ノ即ち道ノ元ハ無為ト云ふが如く有
名ニ至リテハ萬物ノ長別界ノ母タルヲ
ト云フハク

故常無欲以觀其妙、常有欲
以觀其微也 (即チ) 又ハ
ト無欲トハ智慧ヲ含ムハ然レ
妙トハ萬物ノ長別ノ根本ニ一
歸趨ニ至リテハ也 微トハ萬
物ノ長別ノ母ト即ち人ノ智慧ヲ含
ミテ天地ノ始ト云フハ智慧ハ
長別ノ末ニ至リテハ見ルハト云
ク

此兩者同出而異名、同謂之玄、
玄之又玄、衆妙之門、
玄之又玄トハ、種々ノ義ヲ含ム人ノ
之ヲ修辭ト云フ上ノ語ト解ニ及
ズルハ、及後述ト見ルハト云フ

トハハル ~~無為~~ 有為ト微又ハ無名ト
有名トハ ~~一~~ 一ニ歸スルヲ
名ヲ行フト云フ、玄ガ意ハ即チ天地ノ
ハハルヲ理ノ本ニ至リテハ上ハ
子論ノ一系ノ解法ト云フ例ハ一
テ得シ、按テ根本ニ至リテハ之
用ニ至リテハ其ノ倫理ノ方面ニ
ニ至リテハ是レハ其ノ正格ノ方
ハハルヲ中ニ至リテハ其ノ正格
他ニ至リテハ其ノ正格

老子 ~~無為~~ 有為ト微又ハ無名ト
有名トハ ~~一~~ 一ニ歸スルヲ
名ヲ行フト云フ、玄ガ意ハ即チ天地ノ
ハハルヲ理ノ本ニ至リテハ上ハ
子論ノ一系ノ解法ト云フ例ハ一
テ得シ、按テ根本ニ至リテハ之
用ニ至リテハ其ノ倫理ノ方面ニ
ニ至リテハ是レハ其ノ正格ノ方
ハハルヲ中ニ至リテハ其ノ正格
他ニ至リテハ其ノ正格

如キナリ ~~無為~~ 有為ト微又ハ無名ト
有名トハ ~~一~~ 一ニ歸スルヲ
名ヲ行フト云フ、玄ガ意ハ即チ天地ノ
ハハルヲ理ノ本ニ至リテハ上ハ
子論ノ一系ノ解法ト云フ例ハ一
テ得シ、按テ根本ニ至リテハ之
用ニ至リテハ其ノ倫理ノ方面ニ
ニ至リテハ是レハ其ノ正格ノ方
ハハルヲ中ニ至リテハ其ノ正格
他ニ至リテハ其ノ正格

其見之べし

ノ性質事来

(七) 而シテ彼レニ取リテハ 能ハスハ ~~不可~~ 不可
ナリ 知量以上ニアリキ 然レカ其性質ヲ
直ニ名トシテ之ヲ無トイフ 即無トイフ也
本来ノ意味ハ只 形容詞ニシテ知カ上ノ
名ヲ無トスベシ 廣義ニシテイフニアリシ
ナリ 然レニ既ニ 哲学ニ以上ハ之ヲ
カガレテ得ズニハ 然レカ種々ノ形容詞
以テ之ヲ無トイフニ能ハス 上ニカヘ
トセリ 猶西洋ノ 哲学ニカ 天地ノ 実解
ハ Pure Reasonノ 題目ニ付ズト断定
シカウ又ニ 利根ヲ知ル Agnosticism
ト云カウ者 知ラズニ之ヲ云フ也

ニ等シ

(六) 只天地ノ 始トイフ 萬物ノ 母トイフ
中ニハ二様ノ 見解マレニ得ベシ 即
然レノ意ハ ~~時時~~ 天地ノ 原因ヲ
云フカトセルニカ 將タ 實際ニ 天地
ノ 本解ヲ 誤カトセルニカ イフ之
也 ~~是~~ 是ニ 天地ノ 始トイフ
ハ一見 或ハ 天地ノ 始トイフ
因トイフ意ニモ 解セリ 然レニ 非レカ
故ニ一寧ニ 老子ノ 本意ハ 實解ニ

ニ 此カニモト又ニ之ニ 善レシハ 其
~~非レカ~~ 1 通カス 實際ノ 方面ニ 然レ
テ 無ニ 思フニ 即チ 天地
ノ 創造ノ 始ニ 存在セリ 非レニ 今
モ 實ニ 有ト見ル 天地ノ ~~非レカ~~
皮カニシテ 根柢ニハ 無ノ 本解ニモ
無ハ 天地ノ 外ニ 在リ 又ハ 在リニ 在リニ 在リニ
無ヲ 無ニ 天地ト 其ニ 存スル也 有

其見之

1. 性質未

此の如く彼は取りてハ能くハ不可得
 たり知量以上ニアリキ。然レカ其性質ヲ
 直ニ名トシテ之ヲ無トイフ即無トイフ也ノ
 本来ノ意味ハ只形容詞ニシテ知カ上ノ
 名ヲ無トスベシ。然レモ之ヲ無トイフニ
 たりサレバ歟ニ哲學セシ以上ハ之ヲ逆
 カガレテ得ズキニシテカ種々ノ形容詞
 或ハ其無トイフハ能クハ上ニカヘ
 トセリ。然レモ西洋ノ哲學者ガ天地ノ実態
 ハ Pure Reasonノ範圍ニ入ラズト断定
 シテ又ハ利己テ予テ知ル Agnosticism
 ト云フガ知カ上ノ之ヲ逆カシメ

(六) 只天地、始トハ萬物、母トハハ
 中ニハニ様、是解マハハ符ハハ昂
 然ハハ意ハハ~~時空解~~天地、原因ヲ
 是カトセルモハ將タ~~空間的~~天地
 本解ヲ誤カトセルモハカハハ之
 也~~是~~是ニ天地萬物母トハハ
 ハ一見或ハ天地、地即最初原
 因トハハ意ニモ解セリ甘ハハ此ハ地
 故ニ一寧ハ老子、本意ハ是解ヲ記

二直カリニモト又ナニニ善ニ從ヒ一其
~~一~~ 一 諸如の實際の方面ニ於テ
 第ニ~~二~~ 無ニ思ヒトウテ即チ無ハ天地
 創造ノ地ニ一ニ存セシモ一非ズシテ今
 モ尚^モ ~~昔~~ 掌ニ有ト見エハ天地ノ~~素~~
 皮カニシテ根柢ニハ無ノ本質~~ヲ~~也
 無ハ天地ノ外ニ在リ又ハ在リニ~~ア~~ ~~テ~~ ~~モ~~ ~~テ~~
 無ヲ無ニ~~テ~~ 天地ノ其ニ~~ニ~~ 存スル也 有
 ノ天地即チ無ノ天地ナリサレバコソ聖人ハ
 コリテ有ヲ~~レ~~ 無ニ~~テ~~ 入ルヲ得ル
 ナレト

④ 榮は天子ハ何故 = 天地、地有物
(④ + イ = カ) 思ふ = 故に、吉也、

之ヲ今カノ知域ニテ解釈スルニ差別、世界ノ
主客觀ノ合ニテ存在シ我ノ心ニテハ主
ニシテ客ニテハ客觀ガ、現象ヲ
生ズルニシテハ主觀ガ、成物即主觀ノ所
我ガ主觀ニシテ今カノ知域ニテ天地ヲ成ス
ノ主ニシテ我ガ心ノ境限ハヤリ現
象界ノ境限也

計が又心に創始する所の Agnosticism
ト計が又知るに及ぶ之ヲ云ふ也
ニ事シ

(六) 只天地、始トイハルモノ、~~中~~トイハル
中ニハニ様、是解マレテ得ルモノ
他シ、意ハ ~~時間的~~ 天地、原因ヲ
云フカトセルモノカ、~~空間的~~ 天地
ノ本解ヲ説カトセルモノカ、~~之~~
也 ~~是~~ 是ニ天地万物、~~中~~トイハル
ハ一見或ハ天地、也即最初ノ
因トイフ意ニモ解セリ、~~之~~ 非ハ此
故ニ一寧ニ老子ノ本意ハ、~~是~~ 是解也

也 然レバ老子ハ何故ニ天地ノ始ヲ
~~中~~トイハルカ、~~中~~トイハルカ、~~中~~トイハルカ、
之ヲ今ハ、~~初~~ 初解ニテ解キスル義別、世界ハ
主観、合スルニ存在シ我ハ心ニシテ
之ヲ見ケルモノカ、或客観カ、現象ヲ
生ズルモノカ、~~之~~ 是ハ、或物即之ヲ
我ハ主観ニシテ見ケルモノカ、天地ノ始
ノ是ハ、~~之~~ 是ハ、我ハ心ニシテ見ケル
現象、客観也

志見ニベシ

ノ性質事来

(七) 而シテ彼レニ取リテハ 能ハルハ ~~不可~~ 不可
ナリ 知量以上ニアリテ 然レカ其性質ヲ
直ニ名トシテ之ヲ無トイフ即無トイフ也
本来ノ意味ハ只 形容詞ニシテ知カ上ノ
知ヲ無トスベシ 廣シニベシトイフニ則シ
ナリ 然レニ欲ニ 哲学セシ以上ハ之ヲ
カガレテ得ズニ 然レカ種々ノ形容詞
以テ之ヲ無トイフニ 然レカ上ニ加ヘ
トセリ 猶西洋ノ 哲学者ガ 天地ノ 実質
ハ Pure Reasonノ 題目ニ 入ラズト 断定
シテ 又ハ 利己 不ヲ知ル Agnosticism
ト云フ者 知ラズニ 之ヲ 云フ 事
ニ 等シ

(六) 只天地ノ 始トシテ 萬物ノ 母トイフ
中ニハ 二様ノ 見解マデ 得ベシ 即
然レノ 意ハ ~~時時~~ 天地ノ 原因ヲ
云フ カトセルモ 然レカ 實質ニ 天地
ノ 本質ヲ 誤カトセルモ カトイフ之
也 是ニ 天地ノ 万物ノ 母トイフ
ハ 一見 或ハ 天地ノ 始 即最初ノ
因トイフ 意ニ 解セシガ 然レニ 此ハ 地
球ニ 一寧ニ 老子ノ 本意ハ 實質ニ

此モ 然レカ 即 天地
ノ 始ニ 然レカ 母トイフ 如キ 原因ニ 生ズル
テニ 入ラズ 無ニ 一 面ニ 直ニ 有ル 事
我レノ 地ニ 名ヲ 能ハル 如キ 相ヲ 直ニ 觀
スル 如キ 然レカ 天地ノ 實ヲ 得ズニ
子 則レカ 順序ノ 客觀ニ 移リテ 無ニ 天地
ノ 始トイフ 即 然レカ 地ニ 無ニ 意ハ
唯 本質トイフニ 等ナリ 然レカ 又 万物ノ 母

下句云万物恆之是有為上門家園的實
 生之氣元一此之我之走之推之方之氣之
 別一各月即知覺之十二之之之也此方好
 之如之之方物一各物知覺別一相之理
 之先子之之通之客觀之蒙之也，有為之
 各物，母上門也。

道冲而用之或不盈、剝乎以万物之宗
 ト云ヒ「謀」字似若存、器不知進子、蒙帝之先
 ト云ヒ「代」本解~~四~~ノ性質ヲ積極的ニ表現
 セト試ミテ~~其意ヲ~~ハシテ要ニハ「虚」トヒ
 靜トイフ也ナリ以上ニハ出デザル也
 (●) 其レ以上ノ意ヲ~~推握スルヲ~~ 換言
 スルニハ天地ハ本末無異、剝乎ノ
 本解ナル人同ノ智慧ニヨリテ之ヲ

差別（名詞）が成るに由り、林云は是を老子
 に重くして平等の差別の上に価値を附して
 差別八達より平等の真也迷う去りて真＝歸ふ
 べしと云つゝ、愚考は然るなり。第一、
 りば此れ如何の本質の毛差別の平等は何故に
 差別を生ずるに至るか天地が自矛盾
 の結果＝階級何故に此の如き其の如き
 矛盾は人知る所なりとも人知らば天地
 の本質は此の如何なる地位にあるか
 同じ人知る天地の一部たりとも之しか
 差別の生ずる原因も直ぐ天地の自
 矛盾＝非難の感ある全別たる人知
 る又ハ精神上の如き一原理の在るに
 二バ直＝天地唯一元無二とし
 愚考は矛盾の二性は一様、哲学
 的＝一非難也又已＝平等の
 真に差別の安んずる限りの人間
 精進の行方此の如き差別の世界
 を設けるにあり。老子は何
 故に一歩を進めて人知る能くするに
 併せて差別の生命を設けんと
 せりと云ふ知蒙昧、太古の民は区々
 と云ふ、愚考は又直＝生ずるに

其四 列子と莊子
(+) 老子 ~~浮遊に在り~~ 以後其ノ子
臆ヲ愛ケルニ除キ子、又子、无男子、童
子等アリト稱スルニ其書多クハ依託ニシテ言
フニ是ラゴト直ニ引 (後世) 子莊子ニハ
ルヲ以テ列子以前 ~~同書五脈推し~~ 最モ
注意スル又最モ學說トシテ價值アリ
ハ、楊子ナリト之ニ後ニ傍系トシテ
墨子ト并べ説カス 列子六 御寇時
代人物等ノ間ニテハ古 (鄭人ニシ
ト説アリト墨子花等列一時代前、
人ト云フカ如シ 其書ハ文辭極
メテ明瞭媚、優ニ善文ノ域ニ入ル
ヨリ書中又史傳叙事ノ文多シ哲理
ノ書ニシテ雜政ノ嫌アリ學說又老子
理多シ卷厚セリト云々云々ナリ
以上ニ一 面ニ於テハ寧ン歟 (推) 約
ルヲ趣アリ唯不ニ注意スベキハ老子
ノ學ニ無トスルモノヲ ~~莊子~~ 實ニ上ニ熱
信ニ至列子天地 ~~無限~~ 無限ナリ
ノ大小ト云々如シ然レバ制限ノ無限
意味ナルヲ云フカ也即無限ノ後
成ニ一歩ヲ進ムカ也 老子ノ無限
(絶対) 何如ト

之ヲ知ル人知リ不可知の玄陽
也ハ益明言セリハニ

ハ以テ至リテ無~~限~~絶對トナレキ
 當~~雖~~外本解トナレキ~~有極極~~
~~其性變、復明也~~（澤田至ル也）
 「言天地懷者亦謬、言地不懷者
 亦謬、懷與不懷吾所不能知也」
 ト化殷陽問於墨華曰、古初有物乎、
 夏華曰古初無物、今要得物、後之人
 將謂今之無物可乎、殷陽曰、嬰笑則
 物無是後乎、夏華曰、物之始始、初
無極已始或方終、終為始、更知
其終、笑解物之外、自或事之先、
朕所不知也、殷陽曰、笑則上下八
 方有極否乎、華曰、不知也、湯固問、
 華曰、西刻無極、有刻有尽、朕以
 何知之、笑無極之外、復無無極、
 無尽之中復無無尽、無極無~~盡~~復
 無~~無~~無極、無~~無~~復無無尽、朕以
 是知其無極無尽也、而不知其有
 起有尽也」ハ云々也

(三) 引子が修養、~~言法~~ ~~工~~ ~~用~~ ~~の~~ ~~範~~ ~~疇~~ ~~ヲ~~
~~具~~ ~~ス~~ ~~ル~~ ~~ヲ~~ 天地ヲ無限ト見ルヲハ以上、
如シ布シテハ無限ハ又直ニ範疇ノ化生
セルモノナルヲ老子、思玄ト同系脈アリ曰、

夫有形生於無形則天地實生故曰有
太易、有太極、太素、太易者未見氣也太
初者氣之始也太極者形之始也太素
者質之始也

而此形質具於種々變化之經故曰陽
輕而上行天上有日月星辰而下
行地土有冲和之氣人土有五行
天地之精合之萬物化生又無形
无則天地之氣出之至理順節之
化老子云一氣未始有分

~~(X)~~ 而此其如造化生之天地無色
對無限之理

「天地無全純、聖人無全純、
萬物無全用」

天地一逆反非若陽聖人一文仁
非若我皆宣此所隨之理之
出之我之理之隨之理之隨之
純陽之純之生之純之死之純之
全之理之隨之理之隨之理之
之理之隨之理之隨之理之
之理之隨之理之隨之理之
之理之隨之理之隨之理之

十 夫曰居於中而見之
(四) 夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之

「子列子言也三年之後心不放會是非、
口不放言利害、(中略)五年之後心更會
是非、口更言利害、(中略)七年之後心之
所會更無是非、口之所言更無利
害、(中略)九年之後權心之所會、
權口之所言、亦不知我之是非利
害矣、亦不知彼之是非利害矣」

一 夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之

夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之

「聖人踏行不空、踏火不熱、」

「此又西方之神人、其行如神、其
之也」

夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之
夫曰居於中而見之

孔子、名に由 孫子と時同にレサレ
1 若かりし頃の唯後世迄ノ親同ハ當時兩
雄ガ何故ニ一言相及バサリカトイフ也
故テ直字後ハ云フ迄モテ孔子ノ系脈ニ屬
シテ引子ト相似アリ 書中從々儒家ノ言ニモ
此等アルヲ以テ或ハ其系脈ノ由子ガトイフモ
出づルガ故トハ云フ由子ガ、~~孔子~~孔子ノ子
孫子トイフ意ニ由時世ガ~~孔子~~儒家
ノ系脈ヲ指シテ云フハ其系脈ニ由ルハ
ノ實ナルベシトハ其根本ニ於テハ依
トシテ儒ニ非ザル~~儒家~~儒家ノ本色ヲ有
ストイフべシ 孔子ノ言ニテ~~儒家~~儒家ノ
都ニハ外ニ非ズ、一部ニハ~~儒家~~儒家ノ氣入
ラズヲ能ク教ニシテ内而七部ノ~~儒家~~儒家ノ
孔子ノ子ニ成リ其風氣ニテ孔子ノ本領ヲ
盡セリト云フ~~儒家~~儒家ノ七部ニ於テ彼
ガ學說全特ノ傾向ニ由ルヲ見ニ
古人ハ~~儒家~~儒家ニ於テハ心ノ小大ハ
成ナク大ヲ貴ビ而物論ニ於テハ己ガ是ニ
泥ルヲ成ナク而貴ビ養生主ニ於テハ外ニ
後セラルヲ成ナク而貴ビ人間世ニ於テハ
入世始、徳之符ニ於テハ出世始、大
宗師ニ於テハ内ニテ聖人始、~~儒家~~儒家ニ

孔子ノ一見ハ其風氣也

外ニテ聖人ノ~~儒家~~儒家ニ於テハ~~儒家~~儒家
レハ~~儒家~~儒家ノ方面ニ於テハ~~儒家~~儒家ニ
七部ハ七部ニ由リ一~~儒家~~儒家ノ系脈
ノ~~儒家~~儒家ニ由リ~~儒家~~儒家ノ系脈
決別子御用而行、冷笑善也、而有五
日而後及、彼能成~~儒家~~儒家、未幾々笑也
此能更平行、獨有所待者也、若夫
乘天地之正、御六氣之辯、以遊
無窮者、彼且要乎待哉、故曰至人
無己、神人无功、聖人无名、

トイフ~~儒家~~儒家ノ~~儒家~~儒家ニ數々~~儒家~~儒家ノ~~儒家~~儒家
窮~~儒家~~儒家ノ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ノ~~儒家~~儒家
其窮~~儒家~~儒家ノ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ノ~~儒家~~儒家
其窮~~儒家~~儒家ノ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ノ~~儒家~~儒家

即從ハ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ
~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ
即從ハ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ
即從ハ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ

彼是是非ノ争ヲ止テ、自家ノ小見ニ於テ
~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ~~儒家~~儒家ニ

如方面則觀之ヲ無誤ス

「吾生也有涯而知也無涯、以有涯
隨無涯、殆已、~~已而不知其幾也~~、
(中略)庖丁解牛答曰、臣所好者道
也、進乎技矣、此臣之解牛之時、所
見無非牛焉、三年之後未嘗見全牛
也、方今之時臣以神遇而不以目視

~~知~~之役セリ心ハ時ハ也、~~進~~進ミ進ミ神ヲ以テ
遇スバ物ヲ以テ常ニナシト知ル知ル
要即知量ヲ以テ神ニ入ラント也
人何世ハ有用ヲ用トフ方面則觀テ之ヲ
之ニ入ス

「無形之に耳、而聽之以心、~~心~~心之
心不聽之以氣、聽止於耳、心不
聽氣也、皆虛不待物者也(中略)人
之知有用之用、莫知有用之用也」
自家ノ材ヲ、有用ナルヲ知ラズ、
一擧ニハ、~~大用ハ無用也ト次~~
之徳先存ニテハ、~~外ハ~~外ハ~~方也~~方也之ヲ之ニ入
シテ曰、

「徳有所長、而形有所忘、人不忘其所忘、
而忘其所長、此謂之忘也、」

外形ヲ忘シテ徳ヲ内ニ忘ル也、~~外ハ~~外ハ~~忘ル~~

ガ如クセハ、~~トナリ~~次ニ大宗師ハ生死

~~觀~~ヲ以テ入ス

「三日而後能外天下、~~七日而~~七日而
後能外物、~~九日而後能外生~~九日而後能外生、
~~已外生矣、而後能~~(中略)而後
能外之矣、~~而後能~~而後能入於不
死不生」

ト生ハ死ニ入リ、死ハ生ニ入リ也、次ニ
帝王(中略)ハ有用ヲ用トフ方面則觀テ之ヲ
之ニ入ス

「唯王之治、~~天下~~天下而後能不自也、
化貸萬物、而民不恃、有莫榮焉、使
物自化、立乎不測而遊於世
無有者也」

聖人ハ世ハ世ヲ自化ヲ貴フ也、要ス
ルニ以上學、相對ノルヲ見テ之ヲ併セテ
對ヲ知ル、知量ヲ能シテ之ヲ對ニ
ハ并セテ知量ヲ能シテ之ヲ對ニ(近キ)
(天)其ハハ、~~花子ハ~~花子ハ、~~世相ハ~~世相ハ、
對ヲ能セトスルニ、~~其ハ~~其ハ、
上ニ存在スル能對トハ、如何ナルモ
/セハ、~~老子ハ~~老子ハ、~~只無トハ~~只無トハ、
移之ガ模索ヲ試ミテ之ヲ失ズ

果カニ

自然の道を生かす益を以て人常ニ和らぎ
 徳望見せしむるに之ト嬰兒とし彼無所
 用事するに之ト無所畦らし彼し面崖
 夕うたせば之ト無崖タル老子ノ所謂
 和光同塵ト其意ヲ同じけり我しは是
 ルヲ修身ノ第一要領トスル也并に莊
 子ノ論規矩ニ他一面アリ~~即此~~
~~即此~~ 即此言行は是也曰ハク祖父ノ
 忠祖ニ等々~~即此~~ 則バー朝三暮四ニス
 レバ祖也心ニ朝四暮三ニスレバ祖是
 ブ名実無キモノナリ用ハ全シ聖人道ヲ
 知ズニ是非ナラザレバ天
 命ニ休セタム(自覚通止うたふ)
 兩行トハ之ヲ謂フト中人ありて天
 道ノ大円満ナルヲ適宜ニセタス
 ニ也儒家ノ思慕ト相通ズ只外
 花子が之ヲ極致セル非ニシテ寧ロ
 一種ノ方便トモ順次ニ進み其自
 然道ニ入ラシメテ~~即此~~ 意ハ~~即此~~
~~即此~~ 即此也曰ハク孔子ト子夏ト問
 答ニ及リぬ一節~~即此~~ 孔子
 曰ハク方ノ外ニ好ブモノハ世俗ノ礼
 ヲ顧ミば我ハ方ノ内ニ好ブモノナリカ

是我ハフ中ニ極ノ潜龍ナル内高ヲ言ヘ其
何カニシテハ争ヒ至リキ友記トナシアル又
不他金漢書ノ説トナセバハ此ノ理ヲ得ス
故ニ述ビデハ尤モ方外ニ好バラス

~~江田ニ相忘~~ 魚忘れ手長は胡人相忘
乎道徳ニ至ラザレバ不可也ト昂チ
~~有仁義礼智~~ 止マシテ進ミ之ヲ
自忘ルニ至ラザレバカズトイフ也

(十)以上西之花子ハ甚ダ形而上学ニ於
テハ相対ヲ絶シテ大平等ノ境ヲ
(一切) 後セキヲ論カントニ佛教学ニ
於テハ我ヲ没シテ目録ニ思ハシメテ
其有セキヲ示セルモノナリ其最ニ全
意スベキハ其哲学ノ著リ主觀的ニシテ天
地ノ実情ヲ諦ムトイフコト常ニ我ガ之
レヲ以テ心ノ工能ヲ失ヒタル傾向アル
ヲ知ラズ也或ハ云フ所ハ花子ノ哲学其レ
一カ又一種鍊心ノ法ナリヤレバニ
禪宗ノ如ク近似ス。

(一) 楊子の孔を斬る 蓋正期トノ中間ニマテ引
子子思墨子ト并に称せし人ナレバ其
後一傳ハズ 20 花子列子等ノ道家ノ中ニ
数在ル思ふニカク其一斑ヲ窺フベキナ
レ 就中列子中ニ楊朱ノ一章アリテ其
後一大節ヲ占ムニ似テリナレバ是時

(一) 道家 / 正統は老莊 - シテ其別振ハ楊家
ハフオ末述ベキ如シテ其他釋ハ其字ニ
サレモ一面常道ニ依ルモ一ハ他ノ字
ハ派アリカ名家 ~~オハオ~~ オハオ家ニ也 此
中名家ハ其言ハ一言ハ相違ハ正テ天下ノ
道ヲ正セシムルニアルモ拘テ其性ハ金道
家ノ詭弁也 - 一ハオモ一ニテオモ實正
ストイフハ却テ佛家ニ也 此ハ其ノ文
ズニモ理未ダ立ツルニ非ズ其現在ニ安シ
法式ニテ天下ヲ制セシムル所ハ法家ニ也
計モアリケレド - 其言ハ少ク關係ヲ有シ
哲子トシテハ其 ~~研究~~ 研究ハ其ノ詭弁
一ハ其言モ價値アルベク - 一面ハ名理
學ニモ博リ一面ハ倫理學ニモ通シ
員ハ即楊家ニ依テ其言者史
中ノモノトスベキモ他 ~~名家~~ 名家ハ已レテ
陰陽ニ依テ其言ヲ見ルニ化機ハ
欲スニ至リ然レトイフ如キ者本
テ其言者未ダ立ツル所ニ上ニ思
用ニ其言ハ一ニテ其言ハ實道家ニ依
トイフ也 其言ハ - 實道家ニ依テ
道家ハ其言ハ - 陰陽ニ依テ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ

4トイフ言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
ハハ見ルニ蓋シ其言ハ其言ハ
名及トイフ - 一ハ下ニ指シカハ
テ其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
~~名家~~ 名家ハ其言ハ其言ハ其言ハ
別トイフ - 一面ハ其言ハ
名家ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
~~名家~~ 名家ハ其言ハ其言ハ其言ハ

(二) ~~名家~~ 名家ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ

白馬非馬可乎、曰可、何哉、曰馬
者所以命形也、白者所以命色
也、命色者、非命形也、故曰、白
馬非馬。

即其理更ニ白馬非馬トイフ言ハ其言ハ
ハ其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ
其言ハ其言ハ其言ハ其言ハ

二に、初め、又當時已二孔子、字は
世二附二、ハ、リ、ト、見、二、二、孔子魯
二、リ、テ、四、十、三、歳、ノ、時、魯、ノ、臣、季、氏、陪、ニ、
政、ヲ、執、リ、其、臣、陽、虎、ノ、乱、シ、レ、バ、孔子
仕、ヘ、バ、ニ、テ、也、又、其、時、コ、リ、テ、詩、書、礼、楽、ノ、修、
理、ニ、心、ヲ、掛、ケ、又、不、シ、テ、一、方、ニ、ハ、孔子
ノ、来、リ、テ、教、ヲ、授、ケ、ル、モ、居、ラ、ズ、五、十、一、歳、
頃、魯、ノ、定、公、ニ、用、ヒ、テ、中、部、ノ、宰、ト、シ、司、
政、ト、ナ、リ、大、司、政、ト、ナ、リ、治、績、頗、ル、事、レ、ト、
イ、フ、孔子、少、時、季、氏、ノ、臣、ト、ナ、リ、又、司、職、車、
ト、ナ、リ、キ、ト、ド、シ、事、ハ、卒、ニ、精、細、ニ、シ、テ、仕、
ス、ニ、シ、テ、已、シ、一、過、ヲ、天、下、ニ、行、フ、ト、イ、フ、
魯、ノ、一、過、ニ、一、過、セ、ザ、リ、シ、テ、也、其、孔、
子、ガ、已、シ、一、過、ヲ、行、フ、ハ、是、レ、ハ、一、官、ニ、就、
キ、レ、ハ、其、時、ヲ、始、ト、ス、ニ、シ、テ、五、十、六、歳、
頃、九、ノ、子、ヲ、招、テ、行、ニ、好、臣、少、正、卿、ヲ、使、
シ、三、月、ニ、シ、テ、魯、大、ニ、治、ル、ニ、孔子、ガ、陳、
行、ノ、方、面、ニ、格、格、ヲ、示、シ、レ、ハ、其、時、ヲ、最、ト、
ス、二、二、隣、國、ニ、テ、嫌、ニ、シ、テ、季、氏、ニ、
臨、行、テ、之、ヲ、阻、ニ、シ、カ、バ、孔子、乃、チ、去、リ、テ、衛、
ニ、過、キ、陳、ニ、過、キ、匡、ト、イ、フ、所、ヲ、衛、ノ、匡、
人、ノ、若、ク、シ、陽、虎、ト、呼、ボ、親、ノ、人、以、
テ、之、ヲ、誤、認、セ、レ、曰、ハ、レ、ハ、レ、ハ、簡、ニ

十、リ、故、テ、レ、衛、ヲ、還、リ、宋、ニ、過、キ、又、陳、ニ、
過、キ、衛、ニ、還、リ、陳、ニ、過、キ、葉、ノ、葉、ニ、過、キ、
三、化、~~三~~ 衛、ニ、還、リ、又、之、ヲ、招、カ、シ、テ、魯、ニ、
帰、リ、時、ハ、二、年、六、十、八、斯、ノ、如、ク、孔子、
半、生、ハ、東、奔、西、走、ノ、間、ニ、経、テ、レ、ガ、魯、陳、ニ、
二、テ、用、フ、ニ、就、キ、孔子、又、仕、テ、欲、セ、
ニ、テ、衛、ノ、衛、ノ、公、生、ヲ、第、ニ、送、リ、~~子、~~
詩、書、礼、楽、ヲ、刪、定、シ、リ、シ、テ、一、頃、孔子、
ノ、弟子、三、十、人、六、藝、ニ、通、ス、二、二、七、十、二、人、
ト、授、ス、又、魯、ニ、リ、テ、魯、ノ、公、西、狩、シ、テ、
禮、ヲ、行、フ、列、孔子、之、ニ、過、ジ、テ、魯、史、ヲ、修、
ム、魯、史、之、也、時、二、年、七、十、一、~~年~~ 魯、
二、年、魯、王、ノ、四、十、一、年、四、月、孔子、七、十、
三、ニ、シ、テ、年、二、魯、ノ、城、北、泗、水、ノ、邊、
薶、ル、弟子、ノ、徒、ニ、附、ス、二、三、年、或、ハ、
六、年、ニ、至、フ、モ、レ、テ、レ、テ、直、ニ、其、化、ノ、徳、
廣、大、ナ、リ、テ、魯、人、ス、二、二、~~魯、~~
~~魯、~~ 孔子、ノ、思、フ、見、ハ、於、テ、最、モ、要、用、ナ、ル、
二、言、ハ、~~二~~ 詩、書、礼、楽、ヲ、刪、定、シ、テ、
刪、定、ニ、シ、テ、レ、テ、レ、テ、レ、テ、レ、
ト、ハ、孔子、ガ、之、ニ、因、ル、ニ、孔子、ノ、言、ヲ、記、セ、
魯、史、ハ、孔子、ノ、自、記、論、語、ハ、弟子、ガ、

見へばカラスに創乾坤成、息⁴成²成¹と
ト又~~此~~故~~・~~形~~命~~上~~吉~~得~~之~~
道、形~~命~~下~~吉~~得~~之~~密、化~~命~~裁~~之~~
~~得~~之~~密~~、推~~命~~行~~之~~得~~之~~通~~ト~~
ト~~以~~之~~陀~~陽~~ト~~化~~乾~~坤~~ト~~化~~剛~~柔~~ト~~
ト~~ハ~~凡~~テ~~天~~地~~ト成~~ル~~所~~以~~ト
二元ニ觀~~ル~~之~~ニ~~名~~ツ~~ケル~~ハ~~、原理
ナリ~~ト~~シ~~テ~~け~~ル~~及~~モ~~二元~~ノ~~相
作用~~シ~~天~~地~~ト万~~物~~生~~ズ~~ト~~ハ~~ハ
易~~傳~~東~~ノ~~觀~~方~~也~~ト~~而~~シ~~易~~ト~~ハ
聖~~人~~象~~ヲ~~立~~テ~~以~~テ~~意~~ヲ~~尽~~シ~~卦~~ヲ~~設~~ケ~~
テ~~以~~テ情~~ヲ~~備~~フ~~ル也~~ト~~モ~~ハ~~外~~ト~~ス~~ル~~
が故~~ニ~~得~~ル~~聖~~人~~ハ、陀陽二元ノ
作用~~シ~~天~~地~~ト成~~ル~~所~~以~~ト~~ハ~~、會~~得~~
之~~創~~也~~ト~~同~~ニ~~之~~ヲ~~得~~ル~~也~~ト~~
也~~ト~~之~~ハ~~之~~ヲ~~其~~ノ~~天~~地~~ト理~~也~~
ト~~ハ~~本~~ト~~モ~~ハ~~ト~~ハ~~乾坤~~ト~~理~~也~~
物~~ト~~ハ至~~リ~~極~~ニ~~有~~リ~~ト~~ハ~~關係~~ト~~
換~~言~~ス~~ハ~~ハ即~~チ~~人~~間~~が天~~地~~ト
其~~ノ~~模型~~ニ~~シ~~テ~~見~~ル~~ト~~ハ~~シ~~テ~~命~~ス~~也~~ト~~
一~~ノ~~小~~天~~地~~ト~~人~~ト~~是~~レ~~也~~ト~~一~~ノ~~概~~ト~~
論~~也~~、其~~ハ~~人~~間~~易~~ヲ~~見~~ル~~ハ
道~~ニ~~天~~地~~ト~~ハ~~陀陽~~ノ~~作用~~ニ~~シ~~テ~~見~~ル~~ト~~ハ~~
易~~傳~~天~~地~~ト~~ハ~~之~~ニ~~外~~ト~~ス~~ル~~

易死也、光也、寂然子郭、遂而通天下之故、非天下
之至神、其孰能其於此、

(左) (模倣)

人ト其ノ交ハ之ニ定メテ以テ
ナレバ其ノ^{陰陽}ト^{五行}ト^{六十四卦}ト^{九宮}ト^{八卦}ト他ナシ
凡ソ其ノ意ヲ知ルニ由リて之ヲ行フ
聖人之学ニ外ナク是ニ至リ

又云ハ先王所傳至誠ノ道ナリ至心只
~~此~~ ~~理~~ ~~也~~ 要ハ世ハ聖人 ~~ヒトリ~~
ニ交ハシテ人オホキニ之ヲ得トス
一模型ニ更ニ示之以テ世人
ニ博クモ交ハシテ其ノ理ヲ明カニ
リ且アリテ凡人ト天下直接ノ交
ハナレバ命アリテ人オホキナラズ
加ヘテ見聞ニ際セザレバ何ノ用
即一面ヨリ言ハバ思ハタカ展々
心未ダ不レテ其ノ所謂天~~理~~
~~性~~ ^{陰陽}ト如何ナルモノナラン
坤陰陽トイフガ方ハ向ッ笑子ニ
形而上者謂之道、形而下者謂之
器、化而裁之謂之文、推而行之
習之謂礼、形而下ハ陰陽ヲイフ也
形而上ハ之ヲ一ニ歸入ニタル
~~モノ~~ 即天道ヲイフ也（抽象也）
ヲイフ也之ヲ道ト名ヅケヌニ理法也
皇識實也 理法也。故ニ至リ易ハ指ト

~~天竺~~ = ~~天竺~~ その也 又其美
感、所謂天ト仁慈トノ學得ヲ記
知レリ實ニ此到極ル子一夫ガ
極世上ノ一物、直ニ極メ

(此次她以風障的1507入心)

2 (呂氏春秋) 卷之八 外紀 天
道 始の阿ニ明ナル侯ナド也 貴ニ
リテハ凡テ一々天ニ訴ヘ天ハ極メテ
人阿ニ察ナドナル監督者ノ地位
ニ立テカ孔子ニリテハ彼ノカメキ大
教度界ノ侯ナルハ漸ク薄キヲリ
其他教ノ貴中ニ是エテ人天感通ノ
道ナリ至誠トハ忠恕ハ孔子ニ即
ハ一層人間ニ至リテ建ノ字ニ
合ニケルヲ見ル又中トハ一大思
ハ貴ニシテ如クニ之ヲカ倫理ハ中
心トハナド仁也ニ代リテ此尚
ノ一用トシテ推尊セシメ知フ勿論ニシ
ト曰中庸之為徳也甚至矣夫民鮮久
矣トナリ。

(十) 孔子「一」代，修身治人，
子曰：「吾十有五而志于學，三十而立，四十而不惑，五十而知天命，六十而耳順，七十而從心所欲不踰矩。」

字而子思，創性，聖而不學，創治。此八
也！孔子，學風也。

トイニニ其順節ヲ示セリモト見ル
一ノ字ヲ思ハシメテ字ノトイハシ其方也

示セルモノは、~~是れ~~ 礼と義の道、
孝、悌、忠、信、仁、勇、敬、恭、節、廉、恥、
二日常ノ一カケヲ示セルモノトシテ其他
孔子ガ多クニセル所ハ、禮トモ義トモ
孝トイフニアリ。禮ハ和ノ本也。義ハ
正シキナリ。孝トハ敬シテ違フナキ也。又
仁ニハ知ト勇トヲ併ベ、義ニハ利得ヲ
併ベ言ヘルモノ多キヲ見ル。

(士)孔子、政治意見トシテハ、別に言フハナ
キ、トシテ個人ノ道徳ハ直ニ又國家ノ
政治ニハルヲ孔子ニ於テモ他ノ古那學者
ト同ノ一ツリヲ見ルカレバ、孔子曰、道之
以政、齊之以刑、民免而無耻、
道之以道、齊之以礼、有耻且
格、トイハルモ、其政治策根本
ニシテ得、刑名法家ノ思想ヲ以テ
排除セリ、立脚地ヲ求め、
其他夫ノ民可使由之、不可使知
之トイハル如キ、故ニモ今日ノ思想
可以テ深ク、徹シ、又、
其

(七)孔子「^新美ニ愛」スル意見ハ之亦多
ク周ニ一カチルニ論語中ニ見テ、
見エ知ルニ喜来ト言フニ對スル意見

十、高平ハ孔子ノ答ニ「外食シテ
 膏陶器三月不知肉味」ト化シ吾自衛及
 魯樂後来正雅頌各得其術ト云々トイヘル
 ニ「んべし而テ其来ヲ~~味~~味ツノ~~條~~
 其ニ之ヲ毛(匿格)隱侯文シテ利用ノ創
 則又其利ニハ之ヲ~~用~~方~~レ~~示~~ス~~来ト并ベ歎セル
~~ニ~~~~也~~ニテ此也人：シテ仁ナラズバ
 カシキ如ク果~~カ~~水~~カ~~如ク~~イ~~リ又~~ウ~~シニ~~シ~~テハ
 シテ~~ニ~~一~~言~~以敬之~~田~~曰思~~ヒ~~亡~~ク~~刑ト化
 (隱)雖~~モ~~来~~テ~~而不~~レ~~淫、哀~~テ~~不~~レ~~傷トイヘルニ
 コリ詩ノ味ノ方~~田~~解セ~~ル~~ヲ~~##~~先食~~ニ~~
 ケシ毛所~~レ~~淫ハ之亦利用享世ノ服~~リ~~
 價值ヲ附~~セ~~~~ル~~セトス(詩)
 可興、~~此~~可觀、可以群、~~更~~可~~レ~~
 (以)怨、通之事父、遠之事君、
 多識~~ヲ~~鳥獸草木之名」トイヘ
 ノ之外ナラズ。

其八子思

(4) 孔子、弟子は多くて、最王其思を推
 統ぬはたて力に、弟子は多し、
 孔子は直接に授けし書は、
 多くに、
 孔子は、
 弟子は、
 孔子は、
 弟子は、

